



成田ともきニュース

発行元 生駒市議会議員 成田智樹 〒630-0244東松ヶ丘7-1-306 TEL/FAX73-8313

市議会公明党トピックス

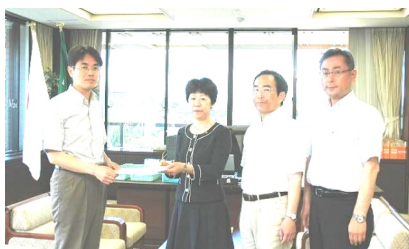
風疹予防ワクチン公費助成を実現！

全国の風疹患者数が、年明けから5月までで、昨年同時期の約3倍に上るという事態を受け、市議会公明党は5月24日、山下市長に対し、「風疹予防ワクチン接種費用の公費助成を求める要望書」を提出し、早期の公費助成開始を強く求めました。

風疹は成人が感染しても重症化することはほとんどありませんが、妊婦の方が感染した場合には、胎児に障がい「先天性風疹症候群（CRS）」が発生する恐れがあります。助成対象は妊娠を希望する

全国の風疹患者数が、年明けから5月までで、昨年同時期の約3倍に上るという事態を受け、市議会公明党は5月24日、山下市長に対し、「風疹予防ワクチン接種費用の公費助成を求める要望書」を提出し、早期の公費助成開始を強く求めました。

風疹は成人が感染しても重症化することはほとんどありませんが、妊婦の方が感染した場合には、胎児に障がい「先天性風疹症候群（CRS）」が発生する恐れがあります。助成対象は妊娠を希望する



山下市長に要望書を提出しました

女性及びその家族などです。ぜひこの機会に接種を受けましょう。くわしくは生駒市健康課（TEL75-2255）にお問い合わせください。

市に見通しの甘さがあったことは否定できません。再入札の結果、7月末に約86億円で落札されましたが、結果として計画当初より30億円以上の建設工事費増となり、事業リスクは高まりました。病院事業については、引き続き厳しいチェックが必要です。



成田ともきも説明を担当しました

今後、頂戴した意見への対応及び回答について議会において慎重に検討を行ったうえで、9月議会への条例案提出を目指して進めてまいります。

生駒市立病院開業時期を延期

建設工事入札不調 平成27年6月開院予定に

平成27年3月開業を目指していた生駒市立病院の建設工事一般競争入札は、6月6日開札されましたが、入札参加者がなく不調に終わりました。

そのため、6月議会開会前に建物建設費予算を従来の82億3200万円から90億6000万円に増額する補正予算案が市長から提出されました。

この議案は所管の市民福祉委員会に付託され、17日に開催された同委員会で、入札不調に至った経緯、今後の収支計画等質疑が行われました。

委員である成田ともきは、従来の予算額決定後に、指定管理者である医療法人徳洲会の要望によりリニアック室（放射線治療室）を追加した経緯等をふまえ、予算内に収めるための設計変更を行う考えはないか市側を質しました。

山下市長から、病院の機能を重視し、設計を見直す考えはないこと、また、建設費が増加しても従来の計画通り指定管理者から毎年収受する負担金（減価償却費相当分）と国からの交付金で全額



賄えるとの答弁があり、審議の結果、会期最終日に原案通り承認されました。（公明党も賛成）

しかし、平成26年度中の病院開業の可能性はなくなり、開院予定は27年6月に延期されました。

今回の入札不調は、市長がブロッコ等でも説明している通り、建設資材単価及び労務単価の高騰を予定価格に十分反映できていなかったことが原因ですが、それに加え、議会開会前に開催された病院事業特別委員会での答弁でも明らかとなり、市に見通しの甘さがあったことは否定できません。

議会改革情報

「議会基本条例（案）」へのパブリックコメント募集と説明会を実施

生駒市議会では、4月18日から1カ月間「生駒市議会の運営及び議員活動に係る基本条例（案）」についてパブリックコメント（意見募集）を実施するとともに、4月27日、市役所4階会議室において条例案の説明会を開催いたしました。



平成25年6月議会
一般質問(要旨)

● 災害対策
● ゾーン30
● について

災害時要援護者の
避難支援について

災害発生時に一人で避難することが困難な

方（災害時要援護者）の名簿の作成が、災害対策基本法改正により市町村に義務付けられることとなりました。現在、生駒市では平成22年に策定さ

れた「生駒市災害時要援護者避難支援プラン」に基づき、名簿の作成および要援護者ごとの個別支援計画の策定作業（支援員の選定等）が市と自治会、民生・児童委員の協力のもと進められています。阪神、東日本大震災の教訓を生かし、真に実効性のある施策とするため、現在の本市の取り組みについて質問いたしました。

問

問 「市災害時要援護者避難支援プラン」に基づき、要援護者台帳の作成、支援員選定作業が進められていると聞く。どのような状況か。また、対策はいつまでに実施されるのか。

答

答 要援護者台帳は、市で作成・管理し、個別支援計画書の情報をもとに要援護者本人と避難支援

ている。避難支援員の選定は、市から自治会などに依頼しているが、高齢者比率の高い地域や近所付き合いの少ない方の選定には難航している。

問

問 避難支援を円滑に実施するためには、要援護者マップの作成・整備が有効と考えるがどうか。

答

答 GIS機能を用いた要援護者マップの作成は有効な施策であると考えており、今後研究したい。

問

問 指定避難所拡充策として、市内の県立高校や大学その他とも防災協定を締結するべきであると思うが、どうか。

答

答 県立高校2校からは二次避難所使用の内諾を得ており、今後協定を提携したい。また、地域防災計画を見直す中

ゾーン30について

で、奈良先端科学技術大学院大学には、避難所など拠点施設としての協力を要請していきたい。

全

全国で集団登下校の事故など通学路での事故が相次ぎ、政府は緊急安全点検などの対策を講じています。そのなかで面的な道路対策のひとつとして最近導入されたのが「ゾーン30」です。従来の路線ごとの規制ではなく、一定の地域において最高速度を時速30kmに規制し、地域内の歩行者の安全を確保するものです。

問

問 市内で計画中の「ゾーン30」はどのような内容か。

答

答 桜ヶ丘小学校周辺地域において、本年9月初旬から指定する予定である。制限速度の規制標識設置と路面への表示を行うとともに指定開始に伴う広報、啓発の実施を予定している。

成田ともきホームページはこちらから

成田ともき

檢 索

「期日前投票宣誓書」が入場整理券裏面に

実績

今回の参議院選挙から、生駒市では「期日前投票宣誓書」が入場整理券の裏面に印刷されました。これにより有権者は事前に自宅で宣誓書を記入できるようになりました。

市役所内の期日前投票所の受付で記入する宣誓書については、多くの方から「職員に見られていると手が震えてしまう」など、改善を求める声が寄せられていました。

昨年、成田ともきは、すでに多くの自治体において入場整理券裏面に宣誓書印刷が導入されている事例を市に伝え、生駒市においても早期に導入を図るよう要望していました。

[illegible]

自由自在

ねじれ国会解消による政治の安定、実感できる景氣回復の推進を訴えさせていただいた今回の参議院選挙。公明党は支持者の皆さまの絶大なるご支援を賜り、前回、前々回の当選議席数9を上回る11議席を獲得、大勝利することができました。みなさまのご期待にお応えできるよう「小さな声を聴く力」を更に磨きあげてまいります。（智）